

2021年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
制作プロデュース 3											
対象	4 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	大槻 透／伊東 明日香			実務経験	有	職種	画家				
授業概要											
素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備えることを学習目標とする。											
到達目標											
1年次の基礎描写力を踏まえ、正しい素描の表現を出来るようになる。本格的な課題へ向けて描写力を鍛え、知識・技術をより深く学ぶだけでなく完成度の高い作品を制作できるようになることを到達目標とする。											
授業方法											
人物・静物・風景のモチーフを中心に1年次より難易度を上げた課題で制作する。導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。作品ごとに最後は講習会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。											
成績評価方法											
課題	80%	課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価									
授業態度	20%	作品制作への積極性を評価									
履修上の注意											
実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合が有るので、逐一巡回、個人指導を行う。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教員・卒業生の参考作品、各種モチーフ等。											
回数	授業計画										
第1回	絵は記憶で描く事をより深く考察する事が出来る										
第2回	石膏の幾何形体を描けるようになる①										
第3回	石膏の幾何形体を描けるようになる②										
第4回	静物を単体で描けるようになる①										
第5回	静物を単体で描けるようになる②										
第6回	形態と質感を描けるようになる①										

2021年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
制作プロデュース 3	
第7回	形態と質感を描けるようになる②
第8回	形態と質感を描けるようになる③
第9回	質感の違いを描けるようになる①
第10回	質感の違いを描けるようになる②
第11回	質感の違いを描けるようになる③
第12回	遠近法を理解できるようになる
第13回	幾何形体と静物を的確なパースで描けるようになる①
第14回	幾何形体と静物を的確なパースで描けるようになる②
第15回	幾何形体と静物を的確なパースで描けるようになる③